

コンクリート初打設【大林水門】

11月12日（水）に一関遊水地大林水門（排水施設）の躯体コンクリートを初めて打設しました。コンクリート全体で約3万m³のうち、約900m³をポンプ車3台、作業員約30名により1日かかりで打設。今後は月に2回程度のペースで打設し、平成28年春まで打設が続く予定です。



生コンを、3台のポンプ車で圧送



▲(株)奥村組の職員が打設状況を終始管理

▼圧送された生コンを、バイブレータで締め固め



小学生が一関遊水地を見学

11月13日（木）、一関市立興田小学校の生徒24名が一関遊水地の見学に訪れました。小学生の皆さんはあいぽーとで開催中の『ゲリラ豪雨展』や集中管理センター・展望室のほか大林水門工事現場を見学し、北上川の洪水から一関を守るための対策などを学びました。



ゲリラ豪雨の恐ろしさを説明



集中管理センターを見学



大林水門の役割について説明



砂防の役割について説明



一関遊水地について説明



大林水門工事現場見学

◆◆編集後記◆◆遊水地に飛来したハクチョウやカモの群れを見ると、そろそろ初雪の便りが聞こえてきます。早め早めタイヤ交換や安全運転で交通事故を無くしましょう。(あおば)